

「宝塚大学 東京メディア・コンテンツ学部」の“今”を伝えます

報道関係各位

2011年2月



〔作者〕 イラストレーションコース 2年 如月 友里佳 さん

「宝塚造形芸術大学」は、2010年4月に「宝塚大学」へ名称変更しました

＜宝塚大学 東京メディア・コンテンツ学部に関する情報のお問合せ＞

宝塚大学 東京 新宿キャンパス 広報室

担当: 山本、佐藤、金澤 TEL: 03-3367-3411

＜ご掲載・写真データ等に関するお問合せ＞

宝塚大学 東京メディア・コンテンツ学部 広報事務局 共同 PR 株式会社

担当: えがしら たかはし かんの 江頭、高橋、菅野 TEL: 03-3571-5228

松本 零士 教授「旭日小綬章受章御礼の会」開催

松本 零士 教授の「旭日小綬章受章御礼の会」が1月25日、東京・港区のグランドプリンスホテル新高輪で開かれました。当日は松本 零士 教授の73歳の誕生日でもあり、会場に集まった約300人が、松本 零士 教授の旭日小綬章受章と誕生日を祝福しました。

冒頭、宇宙飛行士の山崎直子さんが、77歳で宇宙に行った米国の宇宙飛行士、ジョン・グレン氏のエピソードを紹介し、「先生にもぜひ宇宙へ行っていただき、ますますいい作品を描いてください」と祝辞を贈りました。

松本教授は日頃から、「スケール感を実際に行かないと分からない。写真だけ見て描いたものとは全く違う。若い時には行ける所には行き、触ることができるものには触ることが大事」と、自分の目で見て確かめて描くことの重要性を学生に伝えています。この日も山崎さんの話を受けて、「この目で地球を見てみたい。『帰れなくてもいいから、打ち上げてくれ』といつも言っています」と答え、宇宙への想いを強くしていました。



挨拶する松本 零士 教授

会には、さいとう・たかをさん、ちば てつやさん、藤子 不二雄 (A) さん、やなせ たかしさんら、同世代の漫画家が集まり、松本教授の受章を祝いました。また、アニメ「銀河鉄道 999」の主題歌を歌った、ささき いさおさん、劇場版「銀河鉄道 999」主題歌のタケカワ ユキヒデさん、「キャプテンハーロック」主題歌の水木 一郎さんら、歌手3人がそれぞれテーマソングを披露し、会場を沸かせました。



(左から)ささき いさお 氏、松本 零士 教授、
タケカワ ユキヒデ 氏

<松本 零士 教授 プロフィール>

16歳の時に描いた『蜜蜂の冒険』で「漫画少年」第一回新人賞を受賞し、漫画界デビュー。その後、『光速エスパー』『男おいどん』『宇宙戦艦ヤマト』『銀河鉄道 999』『宇宙海賊キャプテンハーロック』などで日本を代表する超人気漫画家に。講談社出版文化賞児童漫画部門賞、小学館漫画賞、日本漫画家協会特別賞など受賞多数。2001年、紫綬褒章受章。2010年、旭日小綬章受章。

1.HOT TOIPICS—②

宝塚・新宿両キャンパスで 『クリ博 就職フェスタ』参加ツアー

新宿 NS ビルで1月26日（水）に開催された「クリ博 就職フェスタ※」（主催：株式会社デジタルスケープ）に参加するため、宝塚キャンパスがバスツアーを企画し、新宿キャンパス協力のもと、23人の学生たちが東京での就活に臨みました。

※「クリエイティブな仕事の博覧会」というテーマで、ゲーム・アニメ・TV・映画・映像・CM・Web・広告・デザイン・音楽などのメディア・コンテンツ業界の企業が出展する就職イベント。

今回が初となる本ツアーは、宝塚キャンパスの学生がイベント開催日の前夜にバスで大阪を出発し、翌朝の東京到着後イベントに参加。東京新宿キャンパスで業界セミナー（講師：コンテンツプロデューサー・公野 勉 氏）を受講した後に、翌朝大阪へ戻る0泊3日（車中2泊）の強行軍でした。厳しいスケジュールのツアーにも関わらず、宝塚キャンパスからは3年生23人が参加しました。

バスツアーを企画した、アドミッション・キャリアセンターの白石 司 就職課長は、「コンテンツ業界の一大就職イベントに参加することで、学生の就職へのモチベーションを上げるために企画した。また、貸切観光バスでの送迎を行うことで、就職活動の費用軽減にもつなげたかった」とツアー企画の意図を語りました。

「クリ博 就職フェスタ」は、多くの学生が開場前から列を作るほどの盛況で、学生たちは各企業のブースやセミナーで企業担当者の説明を熱心に聴きながらメモを取っていました。

今回のツアーに参加した学生は、「今までに経験したことのない雰囲気味わえた」「同じ業界を目指す他大学の学生と、情報交換などの交流をすることができた」などと話していました。

白石課長は、「参加した学生たちは来場者数の多さに圧倒されているようだったが、就職活動の現状や厳しさを実感できたと思う。他大学の学生と、就職活動の状況に関して情報交換をできた者も多かったようで、とても良い刺激になったと思う」と今回のツアーに手応えを感じていました。



「クリ博 就職フェスタ」前に行われた出陣式



会場内の様子

1.HOT TOIPICS—③

マンガコース、ゲームコースの学生が制作した iPhone/iPad 向け漫画アプリ 『今昔漫筆画集』が iTunes App Store で販売中 日本の昔話をモチーフに2話を収録

マンガコースの^{たかはし}高橋 有希さん（3年）、関根 睦さん（3年）、ゲームコース 増田 ^{しほう}宗嶺さん（4年）の3人が制作した漫画アプリ『今昔漫筆画集』（iPhone/iPad 向け：115円）が好評販売中です。『今昔漫筆画集』には、日本の昔話「送り狐（きつね）」をモチーフとした「神主様と悪戯狐」、「桃太郎」を題材にとった「-超英雄伝説-杏太郎」の2話が収録されており、大倉 有樹 助手と、マンガコース、ゲームコースの学生が共同で制作しました。販売を通じて得た収益は、新たなコンテンツ制作の為に学生に全て還元される仕組みとなっています。



『今昔漫筆画集』

© SpringSnow



「神主様と悪戯狐」

© SpringSnow



「-超英雄伝説-杏太郎」

© SpringSnow

< 作品 >

■ 「神主様と悪戯狐」：ゆういち（ペンネーム）

昔話「送り狐」のストーリーをモチーフにした、筆者による新たな「送り狐」の物語。

■ 「-超英雄伝説-杏太郎」：陸奥 ごろう（ペンネーム）

日本で有名な「桃太郎」。しかし、その裏側に隠されたもう一つの物語が！

■ アプリ名：『今昔漫筆画集』（115円） iPhone/iPad 対応（iPad 互換 iOS 3.2 以降が必要）

<http://itunes.apple.com/jp/app/id405410662?mt=8&ign-mpt=uo%3D4>

※ 英語版『Konjaku Manhitu Gashu』も購入可能

1.HOT TOIPICS－④

各コースで学生の作品集を発刊！ マンガコース学生作品集 『NEO』 第2号 イラストコース作品集 『Little Red Riding Hood』

▼マンガコース 学生作品集『NEO』第2号

マンガコースの学生が企画・編集したオリジナルマンガ雑誌『NEO』の第2号を刊行しました。

『NEO』は昨年2月に創刊したマンガ雑誌で、「自分たちの作品をもっと外に発信したい」、「学生達の発信への意識を盛り上げ、キャンパスごとレベルアップしたい」をコンセプトに、企画・編集を全て学生自身が行っています。創刊号が大変好評だったことや、学生たちが描き手や編集者など様々な視点からマンガに関わる経験を得られることもあり、今回第2号を刊行する運びとなりました。

編集部代表のマンガコース3年 川口 藍さんは、「編集の仕事を引き継ぎ、失敗も含めて経験した全ての事は、私の大学生活においてかけがえのないものとなりました。この経験が、NEOに携わった人の為に、そして次のNEOの為に、マンガという文化に関わる全ての人に為になればいいと願います」と、第2号が完成した喜びを語ってくれました。



『NEO』第2号 表紙

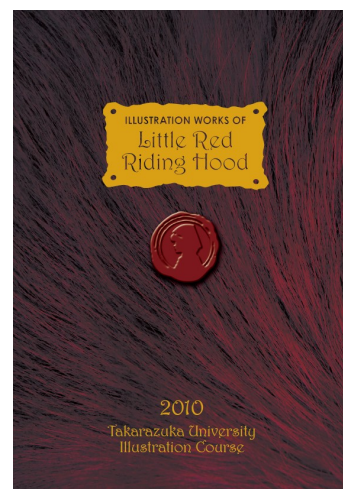
▼イラストコース 学生作品集『Little Red Riding Hood』

イラストレーションコースでは、3年生が中心となり制作した作品集「Little Red Riding Hood」を刊行しました。

本作品集のモチーフはグリム童話「赤頭巾」で、作者それぞれが「赤頭巾」というテーマからイメージして描いた作品を収録しており、各々の個性溢れる作品集となっています。また、3年生の作品のほか、2年生の有志やイラストレーションコースの担当講師が制作した作品も収録しています。

装丁などのデザインや印刷会社との折衝など、制作にあたって中心的役割を果たした編集委員は、「作業中は大変な事もありましたが、作業の終盤が見えてくるにつれて名残惜しい気持ちになり、自分たちが熱心に作業しているという事実にも気づきました」と制作中の感想を語りました。

イラストレーションコース主任の北見 隆 教授は、「出来上がった本は洗練とは程遠い、でこぼこしたものかもしれませんが、しかし、これが今の等身大の姿であり、ここがスタート地点です。学生たちは、立派に1冊の本を作り上げました」という言葉を学生に贈りました。



『Little Red Riding Hood』 表紙

2.各コース紹介

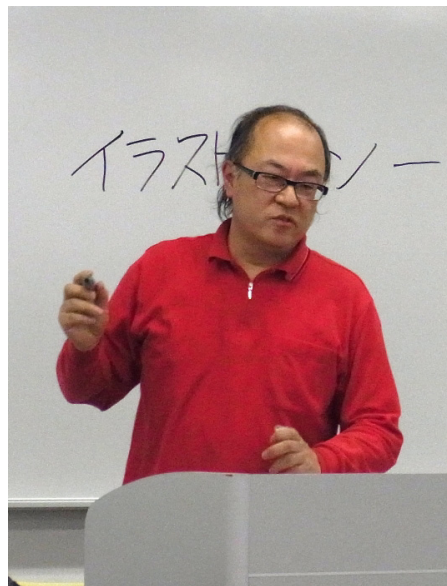
イラストレーションコース

授業紹介

イラストレーションアートⅡ（専門科目）〔 受講学年：3年 担当教員：和田 洋一 〕

この授業では、道具や紙の基本的な扱い方に始まり、実際に立体物を製作することによってペーパークラフトの技術を体得することを目標としています。さらに、ペーパーイラストやポップアップカード、仕掛け絵本といった実践的な作品を製作し、見る角度によって作品の表情が変わるということを経験することで、オブジェクトの配置や演出法の重要性を学ぶことができます。

ペーパークラフトは、最後に残った、人間の「手仕事」です。その技術を未来に継承するとともに、平面イラストと立体との中間的・融合的存在であるペーパークラフトを学ぶことによって、平面思考に固まりがちなイラスト観から3次元的思考へと広げるきっかけになる授業となっています。



講義する和田 洋一 先生

授業では、ペーパークラフトの基礎知識を習得するため、既製品のキット「ドラゴン」を組み立てることでその構造を学んだり、ペーパーイラストやポップアップカードを製作したりすることでペーパークラフトによる表現の奥深さを理解することができます。

また、授業の終盤では、有名な物語を題材にした「仕掛け絵本」の製作が行われました。作品の提出日である授業の最終回、和田講師は、絵がより美しく立体的に立ち上がるための方法を、製作に打ち込む学生にアドバイスしていました。

授業の最後には、「イラストレーターは、外界との結びつきによって成り立つ職業である。クライアントがいるということや、製作物を受け取る側の気持ちを考慮しながら製作をすることが必要」と、イラストレーターとしての心構えについて強調していました。



製作中の作品に
アドバイスをする和田先生



学生が製作した仕掛け絵本
「赤ずきん」



クリスマスをテーマに学生が製作した
ポップアップカード

3.教員紹介

ゲームコース 井上 幸喜 准教授

iPhone をひとつのきっかけに 感覚や発想をシフトし、新たなステージへ

2011年度の新学期から、授業でiPhoneのアプリ開発を行います。制作環境としては、iOS SDK (iPhoneやiPad上で動作するアプリケーションを作成するためのソフトウェア開発キット) の利用だけでなく、先々を読んで Adobe Flash (Adobe Systems 社による、音声や動画、アニメーションを組み合わせて Web コンテンツを作成するソフト) を利用した iOS アプリの開発も授業内容に取りこみました。

現在、産学協同の学生レーベル「JetGameLab^{※1}」では、アプリ作品を有料で販売しています。あえて有料で販売することで、“学生だから、無料だから”という目で見られてしまう部分をなくし、プログラマーや企画者として、プロと同じ環境を体験することが狙いです。授業以外で勝負してみたいという学生には、「JetGameLab」に参加してもらう選択肢を用意しています。



井上 幸喜 准教授

学生は当初、PSP (プレイステーションポータブル) や PS (プレイステーション) などのゲーム制作に夢を抱いてやってきましたが、そんなに甘いものではありません。例えば PS3 のゲームを制作するとなれば、設備なども含め莫大なお金がかかります。当然チームワークも必要だし、自分がひとつの駒に徹して、専門分野でプロフェッショナルな力を求められます。将来のゲーム産業に関わる学生にとって、入口のひとつとして iPhone アプリの制作で基本を学んでもらうことは、プロジェクト全体を見る力を養ううえでも重要です。

私が学生に話していることは、ゲーム会社や、これからゲームを制作していきたいという会社に向けて話す内容と同じで、最新の情報です。しかし、今は iPhone アプリだと強制しているわけではありません。今までボタンを押すことしか考えられなかったゲームの世界から、iPhone をきっかけとして、ユーザーが画面を触って動かすことで生じる新たな世界へ、感覚や発想をシフトして欲しいと思います。そういった新しい目線を持たないと先に追いつきません。

アニメでは“ジャパニメーション”という言葉がありますが、“ジャパニゲーム”は通用しません。ゲームの世界では日本人の感性はそれほど必要でなく、世界を分母としてリサーチして考えないと売れない時代となりました。iPhone アプリでは、世界で毎日どれだけ売れたのか、また、トラックバツ

3. 教員紹介

クのコメントなどから、世界のユーザーの意見がダイレクトに分かります。最近の傾向では、香港、シンガポール、インドネシアなどから大きな反響があります。不思議なことですが、“萌え系”を狙った作品は売れませんが、その中間のものを出すと売れたりします。学生にも世界を見据えて取り組んで欲しいのです。

私のポリシーでもありますが、“ミックス”がゲームだと思います。映画も音楽も絵画も、全てひとつに合わさったものがゲーム。そして、ゲームは触れることができ、その世界に実際に関与できることで“対話”が生まれます。これから始まる卒業制作展でも、“触って面白い”学生作品を出展するのでぜひご覧になって下さい。

※「Jet Game Lab」…大学と株式会社 JETMAN の産学協同の取り組みの一環として設立（2010年8月）。iPhone アプリ・ソーシャルアプリを販売するレーベルです。アプリ開発・販売を通して、学生がゲームやコンテンツ業界の職業体験を積むことが目的としています。企画段階から販売状況、プロモーションをすべてネット上で公開し、収益を次代の学生に還元することで、技術と資産を引き継いでいく、循環型のレーベルを目指しています。第1弾として発表したアプリ「jam バンドスライドパズル」は累計 5,000 本以上の売上を達成しています。

<井上 幸喜 准教授 プロフィール>

1993年ソニー・ミュージックエンタテインメントに入社。PlayStation ソフト『クーロンズゲート』の企画・アートディレクションなどを担当する。1999年、有限会社ジェットグラフィクスを設立。2007年の現職就任とともに同社を宝塚大学 東京新宿キャンパス内に移転し、コンテンツクリエイターの育成に取り組む。著書に『iPhone SDK3 プログラミング大全 ゲームプログラミング』（アスキー・メディアワークス）。近著『iOS プログラミング Adobe Flash で作る iOS アプリ』（アスキー・メディアワークス<MacPeople Books>）

<書籍の紹介>

ゲームコースの吉岡 章夫 専任講師、井上 幸喜 准教授が中心となり執筆された書籍が刊行されました。Flash コンテンツ／ゲームを、iPhone アプリとして開発してみたい学生や開発者に向けて、わかりやすく解説しています。

◆「iOS プログラミング Adobe Flash で作る iOS アプリ」(MacPeople Books)

著者：株式会社 JETMAN / 出版：アスキー・メディアワークス

価格：1,554 円 / 発売日：2011年2月10日

◆内容：

iOS SDK の規約改定により、Adobe Flash CS5 を利用した iOS アプリの開発が可能になりました。本書では、米アドビ システムズ社がリリースしている「Packager for iPhone」を使って、既存の Flash コンテンツを iOS 用にコンバートする方法を解説している他、iOS Developer Program への登録、App Store での審査登録など煩雑な作業についても詳しく紹介しています。後半では、App Store で公開中の Flash で開発した iOS アプリを ActionScript 3.0 のソースコード付きで解説しています。すでに、Flash コンテンツ／ゲームを開発されているデベロッパーの方に最適の一冊です。



「iOS プログラミング Adobe Flash で作る iOS アプリ」

4.今後の予定－①

『第1回 宝塚大学 東京メディア・コンテンツ学部 卒業制作展』

～僕らの初体験、あふれる才能大発射～ 開催のお知らせ

『第1回 宝塚大学 東京メディア・コンテンツ学部 卒業制作展』を、2011年3月4日（金）～6日（日）に新宿文化センター B1 展示室（新宿区新宿 6-14-1）【マンガコース、ゲームコース、イラストレーションコース】、2011年3月8日（火）～9日（水）に新宿区^{つのはず}の角筈区民ホール 3F（新宿区西新宿 4-33-7）【アニメーションコース、映画コース】で開催いたします。



■マンガコース、ゲームコース、イラストレーションコース

【期 間】 2011年3月4日（金）～6日（日） 10：00～20：00 〈最終日は17：00まで〉

【場 所】 新宿文化センター B1 展示室 （新宿区新宿 6-14-1）

【入 場 料】 無料

■アニメーションコース、映画コース

【期 間】 2011年3月8日（火）～9日（水） 〈8日 13：00～20：00、9日 10：00～17：45〉

【場 所】 角筈区民ホール 3F（新宿区西新宿 4-33-7）

【入 場 料】 無料

4.今後の予定－②

■宝塚大学 東京メディア・コンテンツ学部 「オープンキャンパス」

日 時：2011年3月26日（土）

内 容：大学紹介、入試説明会、個別相談、キャンパスツアーなど

■北見 隆 作品展「手紙」

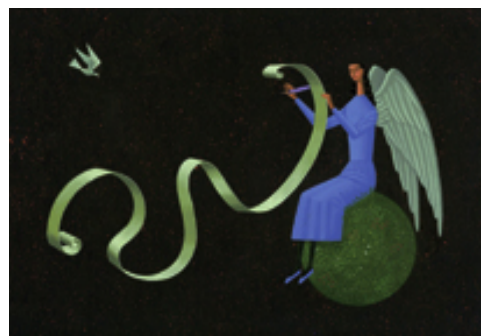
会 期：2011年2月11日（金）～3月13日（日）

11：00～18：00（月曜日休廊）

会 場：art gallery デボラ（大分）

大分県大分市南津留 3-1

出品作家：北見 隆（イラストレーションコース教授）



本号 5 ページでご紹介したマンガコース作品集『NEO』、イラストレーションコース作品集『Little Red Riding Hood』をご所望の方は、下記、共同PRまでご連絡下さい。郵送にてお送りいたします。なお、数に限りがありますのでご用意できない場合もございます。予めご了承ください。

<マンガコース作品集『NEO』、イラストレーションコース作品集『Little Red Riding Hood』に関するお問い合わせ>

宝塚大学 東京メディア・コンテンツ学部 広報事務局 共同 PR 株式会社

担当：高橋^{たかはし}、江頭^{えがしら} TEL：03-3571-5228